

舞岡八幡山しぜん公園スケートボード場のネーミングライツ導入に向けた
サウンディング型市場調査（対話）
実施結果

＜結果概要＞

1 対話期間

令和8年8月18日から令和8年8月25日まで

2 参加事業者数

2事業者

3 対話方法

直接対話及びWEB会議システムによる対話

4 いただいた主な提案・意見（概要）

	項目	提案・意見
1	ネーミングライツ事業のスポンサーとなる意向や関心について	・オリンピック仕様でクオリティの高い施設が戸塚区に誕生することに強い関心がある。 ・スケートボードのコースや観客席など、施設の整備水準は高く、スケートボード場としてのネーミングライツの価値は魅力的だとは思いますが、立地環境から集客面で課題がある。
2	ネーミングライツに期待すること	・地域に貢献したいという強い思いがあり、子どもたちが利用するスケートボード場のネーミングライツを通して、子どもたちが成長する機会に携わりたい。 ・横浜市の宣伝効果を期待している。
3	ネーミングライツ料の価格水準、希望契約年数	※価格水準は非公表とします ・期間は5年以上。 ・長期間を希望する。
4	希望するスポンサーメリット	・優先的にイベントやスクールを開催できると良い。 ・地域への貢献が一番のメリットであると考えている。 ・公園内の入り口の主たるところ等に愛称を掲示してもらいたい。施設利用の際の子どもたちの集合場所となるような場所に掲示できると良い。
5	応募しやすい募集条件などのアイデア	・地元貢献の取組も提案できると良い。またそれを評価してもらえると応募しやすい。
6	ネーミングライツ事業のスポンサーとなるための課題や懸念事項	・施設利用についての苦情がネーミングライツ事業者に来ることが懸念される。 ・施設の公開時に愛称の掲示をできると良い。 ・施設の公開に合わせて愛称の広報PRもできると良い。

5 今後の予定

今回の対話によって、当該施設のネーミングライツ事業のスポンサーとなる意向がある事業者がいること等がわかりました。今後、ネーミングライツの公募実施に向けて取組を進めていきます。